

東海地震に関する専門調査会の検討の流れ

この20数年間の観測データの蓄積等から得られた知見

- ・ 地下のプレートの状況の把握
- ・ 未破壊領域や固着している部分の推定
- ・ 被害予測手法の進歩
- ・ GPS等の進歩による地殻運動の正確な把握
- ・ 海底の地形や地殻構造の詳細な把握
- ・ 過去に起きた地震の震源域の詳細な推定
- ・ シミュレーション解析による地表変形や地中応力の変化の推測

直前予知の可能性を踏まえた想定震源域は
どんな位置、形状なのか
(6月19日、中間とりまとめ)

< 前回の想定震源域 >

プレートの形状がまだよく分からなかったので、単純な長方形の平面を震源域として仮定



< 今回の想定震源域案 >

プレート同士が固着している領域を反映した実際の立体的なプレート形状にあわせた震源域

地震の揺れの強さや津波の
高さの予測手法の検討

各地域での予想される地震の揺れの強さや
津波の高さはどれくらいか

著しい被害を受ける範囲(直前予知を含む防
災対策を実施すべき地域)はどこまでなのか

より正確な予知や、よりの確な防災対策に反映